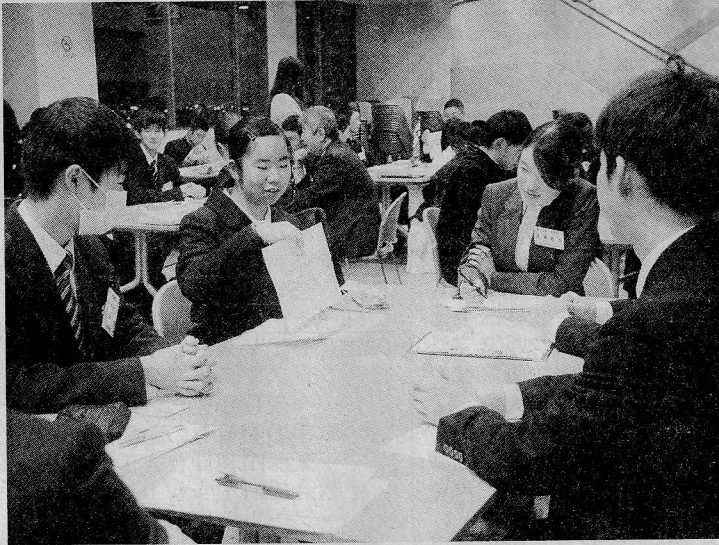


耕人塾第8期 修了式



塾生たちが今期の学びを語り合った

中高生が人間力を育む「耕人塾」（木村民男塾長）の第8期修了式が14日、石巻専修大学で開かれた。石巻地方などの12中学、8高校から新規27人を含む38人が修了。「世界に誇れる石巻地域にしよう」発信！未来へ」のテーマのもとで活動成果と成長を語り合った。

成果と成長を実感

20中高38人に証書

同塾は平成24年に開
講し、石巻専修大学と
同塾は平成24年に開
講し、石巻専修大学と
員会が後援。運営指導

では同大学や同塾を修了した大学生、さらに小中学校の教諭や民間企業・団体の協力者も名を連ね、子どもたちの成長を見守っている。
【近江瞬】

今期は5月の開塾式からこの日まで計13回活動。座学よりも実践に力を入れ、恒例の石巻川開き祭りでのゴミ拾いのほか、「20年後に任みたい石巻地域のためにできること」を自ら考え、行動に移してきた。

修了式では塾生たちと教諭らが4〜5人で1グループを作り、活動を通しての気付きや学びを共有した。このうち稲井中2年の早川美鈴さんは、頻発する台風被害の被災地支援で校内バザーの売上げの一部を募金に充てようと提案。校長に直談判して実現し、44万円を超える売上げから寄付金を捻出できたことを伝えた。

さらに河北中3年の平塚冬真さんは「小さな活動でも続けることで誰かの心に種をまき続けることが大切」と実践の大切さをかみしめていた。その後、一人一人に修了証が手渡された。

石巻日日新聞

2019年（令和元年）12月23日 月曜日